

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成 22 年 3 月

(平成 22 年 2 月末調査)

平成 22 年 3 月 17 日  
長野県岡谷市郷田二丁目 1 番 8 号

**諏 訪 信 用 金 庫**  
**経 営 相 談 室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>  
TEL 0266(23)4567  
FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【1月】	諏訪公共職業安定所管内	0.39倍	0.32ポイント
手形交換高【2月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,268枚	2,131枚
	金 額	8,025百万円	2,965百万円
	うち不渡り 発生状況	枚 数	2枚
	金 額	432千円	3,515千円
電力使用量【2月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	72,881 MWh	+0.6%
	高圧電力計	105,715 MWh	+8.8%
	合 計	178,596 MWh	+5.3%
車庫証明取扱件数【2月】(諏訪地方合計)		970件	+6.1%
新設住宅着工件数【21年4月～22年1月】(諏訪管内)		1,003戸	22.2%

## 地域の概況

### 製造業

自動車部品関係の下請企業は、自動車販売台数が回復傾向であることから受注も安定的に増加している企業が多いものの、大手メーカーのリコール問題の影響を危惧する声がかかれる。工作機械・専用機では、大型設備の動きは依然として弱く総体の受注水準も引き続き低調であるが、中国向けの工作機械や小口の案件に幾分動きが出てきたとする企業もある。金型関連では、デジタル家電向けや医療機器向けに動きがかかれる。デジタルカメラ関連の下請企業の受注の見込みは、親企業により区々となっており一昨年水準まで戻るとする先と不透明感が続いているとする先に分かれている。

諏訪地域の製造業の受注状況は、業種や企業により区々であるが総体では受注が急減していた前年同月に比べると大幅に増加しており、一昨年の7～8割の水準まで戻している企業も多い。また、大きな二番底の懸念は薄らいでいるものの、この緩やかな回復傾向が本格的な軌道にのるか不安視している声もかかれる。

### 商業

諏訪地方の2月の天候は、降雪は少なく気温は平年値よりかなり高くなった。

消費者の節約志向は続いているものの、食品では節分の恵方巻きやバレンタインデーの友チョコなどの定着からイベント関連の売上は昨年を上回ったとする店舗が多い。また、一般の衣料品の動きは引き続き弱含んでいるものの、御柱用の法被や足袋、その他小物の特設コーナーの売上は増加してきている。なお、御柱の来客用のオードブル等の注文も動き出してきた。諏訪・岡谷を合わせた2月の車庫証明件数(軽自動車除く)は970台で前年同月比+56台(+6.1%)と増加率は一桁台に減少したものの4ヶ月連続で前年を上回った。

## 観光業

地域のスキー場への入り込み状況は、施設により区々であるが各種企画が好評であったことから前年を幾分下回った水準を維持している。高原の観光地では幾つかの観光施設の閉鎖がみられるなど厳しい状況が続いているが、諏訪地方観光連盟が企画した「チャイナウィーク」では、中国人観光客約1,300人が諏訪地方を訪れスキー場での花火大会や各施設が独自イベントを行うなど今後も期待される取組みとなった。

なお、御柱祭に向けた宿泊予約の状況は団体客・個人客ともに順調に推移しているが、地元の飲食店では宴会の減少などがきかれる。

## 建設業

市町村の2月の発注工事は、建築工事2件9百万円、土木工事・下水道工事45件170百万円、その他工事15件112百万円の合計62件291百万円で、前年同月比では11件、52百万円の減少となった。県関係の2月の公共工事（地元業者受注分）は、20件、契約金額622百万円で、平成21年4月～平成22年2月の累計契約は186件4,596百万円で前年同期累計比では34件、1,281百万円（前年比21.8%）の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の1月の新設住宅着工件数は55戸で前年同月比+15戸（+37.5%）増加したものの、平成21年4月～平成22年1月の累計着工件数は1,003戸と前年同期累計比では286戸（22.2%）の減少となっている。

住宅エコポイント制度がはじまり、各社ともエコ住宅の新築やエコリフォームの受注に向け動き出している。

## 雇用

諏訪地域の1月の有効求人倍率は、前年同月を0.32ポイント下回り0.39倍と6ヶ月振りに0.4倍台を下回り、対前年比は28ヶ月連続して低下している。なお、全国の同倍率は0.46倍、長野県の同倍率は0.44倍となっている。

また、諏訪地域の1月の新規求人（全数）は868人で前年同月比327人（27.4%）の減少、新規求職者数は1,201人で前年同月比153人（11.3%）の減少となっている。産業別の新規求人数では、製造業のうち電子部品、精密機器、金属製品が増加し、製造業全体でも増加した。一方、建設業、医療・福祉業、サービス業は減少している。

なお、1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は104人と前年同月より347人減少、前月より+2人増加となった。

製造業では受注が増加傾向の企業でも、なるべく新規の採用は抑え、シフトの変更や社内の残業等で対応している。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	受注は弱含みで推移しているが、省エネ家電向けの需要増加が見込まれている。
コンデンサー	受注は弱含みで推移している。
プリンター	アジア向けのサーマルプリンターは比較的堅調である。
コンタクター・リレー	受注状況は安定している。

### 2. 輸送用機械

自動車	需要が回復傾向であり安定的に受注が増加している企業が多いものの、大手メーカーのリコール問題の影響を危惧する声がかかる。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の状況は、受注が急減していた昨年同期に比べ大幅に回復しており、ピーク時の8割程度まで戻しているところもかかる。
船外機	下請企業の生産は新興国向け製品で回復感がみられる。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	大型設備の動きは依然として弱く、総体の受注水準も引き続き低調であるが、中国向けの工作機械や小口の案件に幾分動きが出てきたとする企業もある。
搬送用機械	太陽光発電関連や食品関連に引き合いがみられるが、総体の動きは引き続き弱含んでいる。
金型	医療機器やデジタル家電向けに動きがかかる。
ダイカスト	企業により受注は区々となっているが、ガス器具等は安定している。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの1月の生産台数は654万台で、前月比7.6%減少、前年同月比+76.7%増加となっている。1月の出荷台数は国内出荷55万台、海外出荷574万台で、出荷台数全体では前月比14.5%減少、前年同月比+61.2%増加となっている。(カメラ映像機器工業会) 下請企業の受注見込は、親企業により区々となり一昨年水準まで戻るとする先と不透明感が続いているとする先に分かれている。
プロジェクター	国内は試作が中心である。在庫調整期であり、下請企業の受注は弱含んでいる。
レンズ	受注は前年並みで推移している。

## 5. 織 維

### ニット

2月の天候が全国的に暖かったため春物の出足は良かったものの、高額商品の動きは弱含みで推移している。

## 6. 食 品

### 寒天

天候に恵まれ生産状況は順調で例年より増産となった模様。1月に寒天の効果がテレビ放映され出荷が伸びたが、3月にも数番組があるため御柱祭とあわせ売上の増加が見込まれている。

### 味噌

需要期であるが、店頭価格の下落がみられる。

## 7. 製 材

諏訪地方の1月の木造住宅着工件数は45戸で、前年同月に比べ+9戸増加したものの、基調としては木材や建材の動きは低調である。

## 8. 建 設

### 公共工事

2月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所14件、施設課関係工事2件、林道治山工事関係1件、農地整備課3件の合計20件、契約金額622百万円となっている。平成21年4月～平成22年2月の累計契約は186件4,596百万円で前年同期累計比では34件、1,281百万円（前年比21.8%）の減少となった。昨年の2月は、平成18年豪雨災害関係の工事発注があったことから、前年同月比でも大幅な減少となっている。

市町村の2月の発注工事は、建築工事2件9百万円、土木工事・下水道工事45件170百万円、その他工事15件112百万円の合計62件291百万円で、前年同月比では11件、52百万円の減少となった。

### 民間工事

諏訪地方の1月の新設住宅着工件数は55戸で前年同月比では+15戸（+37.5%）の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」が+10戸増加の44戸、「貸家」が+3戸増加の8戸、「給与」が+1戸増加の1戸、「分譲」が+1戸増加の2戸となっている。

また、長野県全体の1月の新設住宅着工戸数は847戸で、前年同月比+14.2%増と15ヶ月振りに増加した。なお、前年同月比の利用関係別では「持家」が417戸で+17.1%増、「貸家」が362戸で27.9%増、「分譲」が66戸で+22.2%増となっている。

住宅エコポイント制度がはじまり、各社ともエコ住宅の新築やエコリフォームの受注に向け動き出している。

## 9. 商 業

諏訪地方の2月の天候は、降雪は少なく気温は平年値よりかなり高くなった。

消費者の節約志向は続いているものの、食品では節分の恵方巻きやバレンタインデーのチョコなどの定着からイベント関連の売上は昨年を上回ったとする店舗が多い。一般の衣料品の動きは引き続き弱含んでいるものの、御柱用の法被や足袋、その他小物の特設コーナーの売上は増加してきている。また、御柱の来客用のオードブルの注文も動き出してきた。

衣料 暖かな天候から春物の出足は幾分早かったが、消費者の低価格志向は続いており売上は前年を1割以上下回っている店舗が多い。御柱用の法被などの特設コーナーの売上が増加してきた。

食料品 2月は節分の恵方巻きやバレンタインデーのチョコレートなどの売れ行きが好調であったとする店舗が多い。天候が暖かかったため、例年よりフルーツやサラダ用の青果物の動きが良かった。

家電製品 モデルチェンジ前で店頭価格が低下していることもあり、薄型テレビの動きは引き続き好調である。

自動車 諏訪・岡谷を合わせた2月の車庫証明件数（軽自動車除く）は970台で前年同月比+56台（+6.1%）と増加率は一桁台に減少したものの4ヶ月連続で前年を上回った。減税対象車に販売は集中している。

ホームセンター 新生活商品に動きがみられるものの、低価格志向がきかれる。

## 10. 観 光

地域のスキー場への入り込み状況は、施設により区々であるが各種企画が好評であったことから前年を幾分下回った水準を維持している。高原の観光地では幾つかの観光施設の閉鎖がみられるなど厳しい状況が続いているが、諏訪地方観光連盟が企画した「チャイナウィーク」では、中国人観光客約1,300人が諏訪地方を訪れスキー場での花火大会や各施設が独自イベントを行うなど今後も期待される取組みとなった。

なお、御柱祭に向けた宿泊予約の状況は団体客・個人客ともに順調に推移しているものの、地元の飲食店では宴会の減少などがきかれる。

上諏訪温泉 総体の宿泊客数は前年並みを維持しているも、休館日を設定する施設がみられる。御柱祭に向けた予約状況は順調である。

蓼科・白樺湖・車山 スキー場の入り込み客は前年並みを維持している。観光施設で閉館するところがみられた。

下諏訪温泉 ホテル旅館により区々であるが、宴会需要の減少がきかれる。大社通りに大型観光施設がオープンし、今後街歩きの拠点として期待される。

諏訪大社 上社・下社合わせた2月の参拝者数は約34千人で、前年同月比約5千人の増加となった。御柱の抽籤式に向け上社への参拝者が増加した。